

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	令和5年度学校・家庭・地域連携推進事業運営委員会	
2 議題	(1) 学校・家庭・地域連携推進事業の実績報告と課題について (2) その他	
3 開催日時	令和6年3月5日(火) 17時50分から18時40分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 第2会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	増田 元徳、大和田 いそ子、松本 清隆	
7 担当所属	所属名	生涯学習課
	担当職員 (職・氏名)	課長 坂本 一利 課長補佐 前田 和紀
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
坂本課長	(開会挨拶)
前田課長補佐	<p>それでは議事に移ります。(1)「学校・家庭・地域連携推進事業の実績報告と課題」について説明させていただきます。最初に放課後子ども教室事業について説明します。</p> <p>(放課後子ども教室事業について説明)</p> <p>以上で説明を終わります。何か御意見、御質問はございませんでしょうか。</p>
松本委員	長月子ども塾と久良子ども塾は、今年度で終わりですか。
前田課長補佐	<p>長月子ども塾につきましては、保護者から要望がありましたので、来年度も引き続き実施します。久良子ども塾につきましては、保護者に意向を確認したところ、全ての保護者から「来年度は子ども塾を利用しない」という結果になりましたので、今年度末で閉所することとしています。</p>
大和田委員	<p>夏休み子ども教室にしても放課後子ども塾にしても、地道にずっと取り組まれて継続してきたのが功を奏してきたかなと思います。保護者からも良い意見が出ているように、これで保護者の意識が有り難いというように変わっていけば、やはり違いますよね。多分変わっていくと思うのですが、それはもしかしたら私たちの仕事かもしれないが、意識を変えてもらって、本当にそういうふうになっていけば子供も育つし、保護者も育つし良いのかなというような感じがします。</p>
松本委員	<p>緑子ども塾等、毎日実施していないところで、家に親がいなくて子ども塾が毎日実施できないのであれば、放課後児童クラブのある学校に変わろうかというような話はありませんか。</p>
増田委員	その理由だけではではないと思いますが、ありました。
松本委員	<p>読書習慣の定着を図るということであれば、学校の図書室のほうが公民館の図書室より子供たちが接する本があります。セキュリティの関係もありますが、緑子ども塾を学校でも実施することはできますか。</p>

発言者	発言内容
増田委員	<p>緑小学校の図書室は2階にあるので難しいです。</p> <p>4月当初に1回指導員の方々と打合せ会をしていただいたらと思います。新入生も入りますので情報交換をした方が良いと思います。勉強する目的で子ども塾に入るのですが、まだはっきりと分からずに遊ぶ場所と思っている児童もいるようで、その辺りが徹底できていないので、話し合いをして同じ方向を向いていけたらなと思います。</p>
前田課長補佐	<p>4月に打合せ会をさせていただきます。</p>
増田委員	<p>町、指導員、学校、申込みをしている保護者等で打合せができたと思います。文書をもらっても十分伝わらないところがあるので、子ども塾はこういうことをする所なのですよという確認をしっかりとってもらって、共通理解が図れたら良いかなと思います。</p>
松本委員	<p>指導員と学校等との定期的な打合せは大事だと思います。</p>
大和田委員	<p>情報交換とか保護者も一緒にとか、とても良い案だと思います。</p>
松本委員	<p>夏休み子ども教室ですが、周辺部からの参加はどのような状況でしょうか。</p>
前田課長補佐	<p>今年度は、家串、柏、緑、福浦、船越、一本松、篠山小等から参加していただいています。</p>
増田委員	<p>他校の児童との交流ができたりいろいろな体験ができたり、子供たちも保護者もとても喜んでいきます。</p>
前田課長補佐	<p>ほかに御意見、御質問はございませんでしょうか。</p> <p>ないようですので、次に、土曜教育活動事業について説明いたします。</p> <p>(土曜教育活動事業について説明)</p> <p>以上で説明を終わります。何か御意見、御質問はございませんでしょうか。</p>

発言者	発言内容
松本委員	<p>去年、公民館事業でもこのような事業を行っていくという話があったのですが。</p>
坂本課長	<p>各公民館で、土曜日又は日曜日に子供の居場所づくり事業をやりましょうということで、今年度から取り組んでいるのですが、今年の実施状況の参加人数を見ると、篠山登りは定員いっぱい15名ですが、それ以外の事業は定員割れしていますので、公民館事業とのバッティングがあつたりしたのかなと思つたのですが、公民館については、令和6年度も引き続き各公民館で今年度同様の公民館での子供の居場所づくり事業を行うようにしています。</p> <p>公民館はたくさんありますので、どこかの公民館事業とは日程が重なる可能性はあります。</p>
松本委員	<p>公民館の事業とか小さい学校の学Pとかがこの事業に乗つるといいのかなと思います。</p>
大和田委員	<p>定員に至らなくても子供たちは興味関心があるということは将来性があるということではないでしょうか。</p> <p>それと、内容的に少しハイレベルなのかなという感じもしないでもないですけど、ドローン教室が小学4年生から6年生までですが、ちょっと難しかったのかなという感じもします。ドローンは、小学生より中学生の方が喜びそうな感じがしました。</p>
松本委員	<p>子供たちが自分が興味があつて参加しようというものもあるのですが、周りが連れていって、それから興味が生まれるという感じがあるのではないのでしょうか。いろいろなことに参加できる機会があることが大事だと思います。</p>
増田委員	<p>この事業は、4月に申し込んで1年間行うやり方ですか。</p>
前田課長補佐	<p>事業ごとに対象学年も違います。このワクワク体験教室は事業ごとに申込みをしていただいています。</p>
増田委員	<p>何月何日にこの事業があるという年間計画があつて、それを見て参加するということではないのですね。その都度、募集が</p>

発言者	発言内容
前田課長補佐	<p>あってそれに参加するという感じですか。</p> <p>そうなります。講師の先生等の日程調整もありますので、4月当初にこの事業を「何月何日に実施します」と決めるのは難しいです。事業ごとにチラシを作成し、学校を通じて対象者に配付しています。</p>
松本委員	<p>スタッフの都合もあるのですか。</p>
坂本課長	<p>生涯学習課は、スポーツにしろ文化財にしろ土日のイベントが多い状況です。年間計画を出せば良いのですが、難しいところがあります。町のLINEやホームページ等で積極的に周知していきたいと思います。</p>
松本委員	<p>年度始めの校長会などで先生方に理解していただいて、なるべく参加するように動いてもらわないと、生涯学習課だけでは大変そうですね。</p>
大和田委員	<p>事業の開始は8月からですか。</p>
前田課長補佐	<p>当初は、7月からの開始を予定していましたが、都合により8月からの実施となりました。</p>
増田委員	<p>学校単独ではできない事業をしていますね。</p>
前田課長補佐	<p>ほかに御意見、御質問はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、(2)「その他」ですが、何かございませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
前田課長補佐	<p>それでは、以上をもちまして、令和5年度学校・家庭・地域連携推進事業運営委員会を終了します。</p>